

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

「キッズ・マート事業への参加」

登米高校：2年生5名

【活動のねらい】

- ・小学生の販売活動への支援活動をすることで、地域とかかわるとともに、同じ地域で学ぶ高校生に期待される役割を果たす。
- ・奉仕的活動を体験することを通して、奉仕の精神を養う。
- ・販売活動を実際の経済活動（商取引）と想定させることで、簿記の受講者においては習得した知識を活用する場とし、知識の定着を図る。

【志教育の視点】

- ・小学生の販売活動への支援（事前学習における計画立案や当日の販売活動での補助や助言等）を通してかかわりを深め、期待される役割を果たす。

〈活動の流れ〉

- ・みやぎ北上商工会主催の事業で、登米小学校6年生が夏休み中に行う販売活動に、登米高校2年生5名が参加した。
- ・事前学習では生徒も参加して小学生の企画立案への助言、看板等製作の支援等を行った。
- ・商業科目である「簿記」の履修生徒もいることから、簿記を担当している教員に協力してもらい、シンプルではあるが、実際の商品と現金の流れ等を確認し、帳簿にどのように記載していくのかを学ぶ機会とした。

ポイント

事前学習に参加して日程を確認するとともに、当日だけでなく最初から小学生と関わることでたがいに見通しを持つことができ、助言やサポートも円滑に進めることができた。



か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す